

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2411
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	特産品育成・振興事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市特産品等を広くPRするとともに、交流都市等を中心とした各種物産展等へ出展し、特産品の振興に努める。			
2年度概要	物産展等の開催支援等による特産品振興事業：2,172千円			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	特産品のPR対象者数【出展物産展等の来場者数】
意図（どのような状態にしたいか）	参加した物産展等において、特産品等を広くPRし、経済の活性化につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
出展物産展等の出展回数	件	3	7	5	1	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,603	11,020	9,396	9,760
（事業費）	[円]	2,127	3,458	1,808	2,172
（職員人件費）	[円]	4,476	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、例年参加している物産展だけでなく、東京せとうち旬彩館において、首都圏の消費者に本市・事業者等の認知度向上を図るために実演販売を行った。引き続き、観光と物産展に継続して出展するだけでなく、本市特産品のブランド価値を高めるPR手法を検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、特産品の育成・振興により地域ブランドの価値を高めることが求められており、本事業の継続実施は妥当である。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2411
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド力の推進及び地場産業の活性化を推進する。
-------	--

2年度概要	(単位：千円) 振興審議会 98 学校巡回教室 675 振興事業補助金 1,500 夏休み親子体験教室 84 産業発展事業補助金 6,000 大芸ウィーク 1,200 合計 9,557
重点取組事業	特別重点 市長マニフェスト 事務事業の類型 ソフト事業（法律による実施義務有）


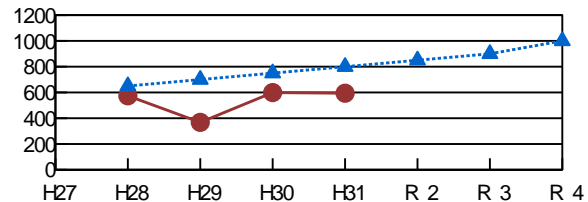

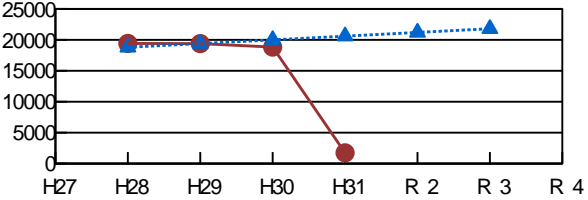
【事業の目的】

対象（何を）	伝統的ものづくり産業
意図（どのような状態にしたいか）	伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大・担い手育成

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及啓発事業開催件数	件	12	15	15	16	16
販路拡大事業出展等件数	件	5	6	3	4	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及啓発事業等参加人数	人	目標値	700	750	800	850	850
		実績値	368	599	594		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 普及啓発事業を開催し、参加人数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド力の推進に寄与する。 夏休み親子体験教室の参加者は増えたものの、学校巡回教室の対象学校の児童数が少なかったことにより実績値は若干減少した。毎年継続開催により、着実に普及啓発を進められている。 							(達成度) 74.3% 26点
販路開拓事業等来場者数	人	目標値	19,400	20,000	20,600	21,200	21,200
		実績値	19,391	18,832	1,736		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 販路拡大事業を開催し、来場者数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド力の推進に寄与する。 対象事業のうち、補助の対象から1事業が外れたことや、新型コロナウイルスの拡大により2件中止になったことにより、大幅な人数減少となった。 							(達成度) 8.4% 2点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	15,550	18,235	18,075	22,001
（事業費）	[千円]	6,066	5,833	5,631	9,557
（職員人件費）	[千円]	9,484	12,402	12,444	12,444

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、事業者や団体と、たかまつ工芸ウィークの実行委員会を設置し瀬戸内国際芸術祭の秋会期に合わせて実施した。外国や県外からの来店や、通常とは異なった層の来店もあり、より広く多くの方に伝統的ものづくり産品を周知し、購入にもつながった。販路開拓事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で、2件が中止となった。今後は、事業者間の連携強化や担い手の育成等により、事業者の伝統的ものづくり事業継続発展を目指した事業展開を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、本市の重要な産品の伝統を守り、発展させる取組が必要であり、本事業を充実させることは妥当である。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2422
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業（農林水産課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るため、盆栽事業者と連携し、高松盆栽PR、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大等を推進し、人づくりの推進及び高松盆栽の育成・振興並びにブランド化を図る。				
2年度概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るため、香川県、JA及び盆栽事業者等と連携し、高松盆栽PR、生産振興、輸出拡大、販路拡大等を推進し、高松盆栽の育成・振興及びブランド化を図る。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	盆栽の振興
意図（どのような状態にしたいか）	高松盆栽の生産振興及び地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
イベント等における高松盆栽のPR開催回数	回	7	7	6	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	盆栽輸出登録申請者数	人	目標値	22	23	24	24	24
			実績値	18	18	14		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 58.3%
								20点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	19,967	16,845	138,122	43,600
（事業費）	[千円]	14,656	11,552	132,810	38,288
（職員人件費）	[千円]	5,311	5,293	5,312	5,312

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
県、JA及び盆栽生産者と連携して、高松盆栽のPR、生産振興及び輸出拡大等を推進したが、後継者不足の解消には至っていない。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
県、JA及び盆栽生産者と連携して、引き続き事業を実施する。			